学校番号	209

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「論理国語」（数研出版）						
副教材等	「論理的に考える　ＬＴ現代文２」（浜島書店） 「読解を深める現代文単語　評論・小説　改訂版」（桐原書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・予習として本文の漢字と意味について、わからないものをピックアップし、書き写しや調べ学習を行いましょう。
・授業には集中して参加し、自分の頭で考え、板書していなくても必要なことはメモを取りましょう。
・論理的な文章を読解、自分の言葉でまとめるための学習をし、ものの見方、考え方を深め、また、思考力を高めることをめざします。
・副教材を用いて、入試現代文に頻出の国語教養を学習し、読解力を高めることをめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価基準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文章全体の構成をとらえる。 筆者の逆説的な表現の内容を理解する。 ［教材］ 東浩紀「弱いつながり」 内田樹「胆力について」 上田紀行「『内的成長』社会へ」 長田弘「国境を越える言葉」 吉見俊哉「〈近代〉の入り口と出口の間」 現代文問題集・現代文単語	a:言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b:[読]文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c: 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート等の提出物 振り返りシート
二学期	哲学的な考え方に触れる。 物事を抽象的にとらえることの利点を考える。 ［教材］ 村上陽一郎「科学・技術の歴史の中での社会」 森田真生「白紙」 野矢茂樹「日本語は非論理的か」 現代文問題集・現代文単語	a: 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b:[読] 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 c: 文章の内容に適した具体例を粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート等の提出物 振り返りシート
	筆者が提示する問題点を踏まえつつ、具体例とともに自分の意見を論述する。 ［教材］ 竹内啓「偶然とは何か」 藤田省三「『安楽』への全体主義」 現代文問題集・現代文単語	a: 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b:[書] 個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 c: 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート等の提出物 振り返りシート

三学期	筆者が考える「問題の本質」の内容を論拠とともに読み取る。 ［教材］ 小浜逸郎「人はなぜ働かなくてはならないのか」 現代文問題集・現代文単語	a: 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 b:［読］人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 b:［書］多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c: 考え方の根拠を示したり、論理展開を読み取ったりする上で、どのような工夫が必要かを順序立てて考えようとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート等の提出物 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準［b］について… 括弧内には［ 話／聞、書、読 ］のどれか一つを記入して下さい。
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間
・書くこと　…　（　５０　）時間
・読むこと　…　（　９０　）時間